

函 福 地

令和4年(2022年)7月5日

報 道 機 関 各 位

函館市保健福祉部地域福祉課長

地域共生ワークショップの開催に係る報道依頼について

このことについて、本市における地域共生社会の構築を目指すため、若い世代を対象に自らが地域の中でどのような役割を担えるかを考えるワークショップを開催いたしますので、報道方よろしくお願ひいたします。

記

- 1 開催日時 第1回目 7月16日(土) 14:00~16:30
第2回目 10月15日(土) 14:00~16:30
- 2 内 容 別紙のとおり
- 3 会 場 第1回目 亀田交流プラザ3階 大会議室2
第2回目 亀田交流プラザ3階 大会議室1
- 4 参加者 遺愛女子学園高等学校, 函館白百合学園高等学校,
市立函館高等学校, 函館西高等学校 の生徒
北海道教育大学函館校 の学生

函館市保健福祉部地域福祉課
担当：伊藤，若狭
電話：0138-21-3289

令和4年度(2022年度) 地域共生社会啓発ワークショップ 開催概要

1 趣 旨

参加者が本ワークショップの中で、講師や他校の参加者との交流や対話を通じて、地域との向き合い方や地域共生の必要性などについて学び、自らが地域の中でできることを考える機会とする。(同一参加者で2回実施)

2 概 要

(1) 主催 函館市

(2) 日程および会場

第1回目： 7月16日(土) 14:00～16:30

(会場) 亀田交流プラザ 大会議室2

第2回目： 10月15日(土) 14:00～16:30

(会場) 亀田交流プラザ 大会議室1

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、オンラインでの開催となる可能性があります。

(3) 時 間 各2時間30分

(4) 定 員 40名

(5) 対 象 高校生 (市立函館高等学校、遺愛女子学園高等学校、
函館西高等学校、函館白百合学園高等学校)
大学生 (北海道教育大学函館校)

3 概 略

各講師のグループで多様な角度から地域の持つ役割を考え、その中で地域共生社会とはどんな社会なのか、また地域共生社会を構築するために自分には何ができるのか話し合い、第1回では、グループごとに地域の中で行うアクションを取り決め、第2回では、実際の行動の中で感じたこと、考えたことを意見交換・発表し地域共生社会への意識醸成を図る。

4 進行および講師

【進行】北海道教育大学函館校	准教授	齋藤 征人 氏
【講師】発達障害者支援センター あおいそら	センター長	片山 智博 氏
介護老人保健施設 グランドサン亀田	事務係長	佐々木 誠 氏
北海道国際交流センター(H I F)	専務理事	池田 誠 氏
北海道教育大学函館校	准教授	金 鉉 善 氏

令和4年度

函館市地域共生社会啓発ワークショップ

○日時

第1回目： 7月16日(土)

14:00～16:30

第2回目： 10月15日(土)

14:00～16:30

(各2時間半 計2回)

○会場

亀田交流プラザ3F 大会議室

地域共生社会ってなんだろう。

年齢や性別、地域、文化などを越えて、みんなで支えあえる地域をつくるために、私にもできることはないか。

各専門分野の講師の活動紹介や大学生とのグループワークなどを通じて、自分にもできることを話し合い、考え、実際に行動してみませんか？

Copyright(c) Hakodate International Tourism and Convention Association.

○内容

1回目は、各講師活動紹介を聞いた後、分野ごとにグループワークを行い、地域の中で自分ができることについて、みんなで話し合い、2回目までの期間に実践します。

その結果や成果を2回目で共有し、地域共生を目指すために必要なことは何かみんなで考えます。

○進行および各講師

【進行】

北海道教育大学函館校 准教授 さいとう まさと 齋藤 征人 氏

【講師】

発達障害者支援センター あおいそら センター長 かたやま ともひろ 片山 智博 氏

介護老人保健施設 グランドサン亀田 事務係長 さ さ き まこと 佐々木 誠 氏

北海道国際交流センター(HIF) 専務理事 いけだ まこと 池田 誠 氏

北海道教育大学函館校 准教授 キム ヒョンソン 金 鉉善 氏

他校の高校生や教育大学の先輩、各分野の専門家と話す貴重な機会になるかも！！



【参考資料】

各高等学校に生徒募集を行う際に配布したものととなります。

【連絡先】

函館市東雲町4番13号

✉ co-fukushi@city.hakodate.hokkaido.jp

☎ 0138 - 21 - 3289

～主催～

函館市保健福祉部
地域福祉課